

本年度、私たち第2660地区RACメンバー35名とローターアクト地区委員4名と家族は、11月20日から11月23日まで、RI第3480地区(台湾)の台北を訪れました。

出発日、関空4階の国際線出発フロアの団体待合室にて、松本Gをお迎えし結団式を行いました。松本Gより、励ましと第2660地区のRACメンバーであることの誇りとそれに伴う責任についての話があり、一同、心一つにして大阪を後にしました。

台湾到着時、垂れ幕を持ったRI第3480地区の陳朝煌代表はじめRACメンバーに熱烈歓迎していただきました。その日は、第3480地区RAC主催のウェルカムパーティーに参加し、台湾・大阪の両RACメンバーが互いに、夫々工夫した歌や踊りを披露し合い、また共同でゲームをして、お互いの懇親を深めました。

2日目の午前中、台北RACのメンバーの案内で、路線バスに乗り台北市内を移動し、仏教寺院や地元の文化にふれました。午後は、両RACが台北市内をクリーンハイクし、その後共同で募金活動をしました。日本のRACメンバーは、台湾のRACメンバーの積極的な活動姿勢を目の当たりにして、多くのことを学びました。また、同じ目標に向かい力を合わせることで、言葉は通じなくても心が通じ合えたことと思います。

3日目は、台湾のために亡くなった人を祀る忠烈祠や中国の至宝が展示されている故宮博物館を見学しました。また別働隊として、私とローターアクト地区委員の一由さん、RAC猪辺代表は、戦前戦後、台湾人と結婚し台湾に住む日本人妻の介護施設である「玉蘭荘」に慰問に訪れました。施設長の今井さん、会長の段志憲さんの案内で、ここに暮らす日本人女性の苦勞と、台湾人との心の交流についてお話をお伺いしました。この日、ローターアクト達は国家とは、そして愛国心とは何かを学んだことでしょう。

4日目は早朝4時に起床し、桃園国際空港に向かいました。チェックアウトを済ませ、出国しようとしたとき、台北RACのメンバーが、できたての豆乳とアツアツの揚げパンを荷台に乗せて持ってきてくれました。彼らの気持ちの表れでした。

4日間の交流を通じ、互いに言葉では理解できない信頼関係が構築できたことは間違いありません。海外研修実施まで合計4回のRAC主催の研修をコツコツ実施し、台湾の歴史・文化や北京語の勉強をした結果が研修の成功に繋がったのでしょ

う。帰国後、解団式において目を輝かせながら思い出を語り合うRACメンバーを見て、海外研修がRACにとって有効な研修の一つであることを改めて実感しました。最後に、RACに対し様々な援助をいただいているRCのメンバーの皆様方に感謝の言葉を送ります。ありがとうございました。

